

【1】はじめに

〔1〕入学にあたって

新入生の皆さん、保護者の皆さん、ご入学おめでとうございます。夢と希望を抱いて武生工業高校へ入学されましたこと心から歓迎いたします。これから3年間、社会人になるための過程として非常に大切な時期を武生工業高校で送ることになります。この3年間が有意義なものになるか、流されて終わるかの鍵はこれからの君たち自身にかかっています。

この「進路の手引き」は、入学という節目に

- ①過去を振り返ってみる
- ②現在の自分を知る
- ③将来の計画を考え、これからの目標を見つける

ことをねらいに作成しました。

保護者の方もじっくりこの「進路の手引き」に目を通され、生徒といっしょに将来について考え、生徒の成長の手助けをしていただきたいと思います。



〔2〕人間として社会人として大事なこと

昔なら15歳(中学3年生)で元服し大人として認められましたが、現在は20歳の成人式を持って一人前として法的に認められます。しかし実際には就職することで大人としての仲間入りをすることになります。高校卒業時には社会人(大人)としての資質が備わるように努力する必要があります。

社会人として必要な資質としては次の3つのことがあげられると思います。

- ①人間性・社会性を確立していくこと
- ②基本的な教養・知識が身に付いていること
- ③勤労意欲・労働意欲が身に付いていること



またさらに一人前の大人として認められるにはさらに次の3つのことが必要になってきます。

- ①親から経済的に自立する
- ②しっかりした家庭を築く
- ③地域社会に貢献する



〔3〕なぜ高校へ入学したのか考えてみよう

「人間として社会人として必要な資質」は全員が身につけなければいけません。それにはいろんな方法がありますが、その一つに高校という場があります。

まだ未完成な自分を認め、前向きに完成させていく場が高校なのです。

高校を卒業することが最終目的ではなく、「一人前の大人になる過程」でしかありません。高校生活を前向きにとらえ努力できない人は別の方法も模索するべきだと思います。

★高校卒業は
「一人前の大人になる過程」のひとつではない。

【2】働くとは

〔1〕武生工業高校をとりまく現状

武生工業高校は創立してから50年あまり経過しましたが、その間福井県、特に丹南地域の経済発展のために多くの人材を社会に送り出してきました。

丹南地域は電子関係、自動車関連、化学関連、めがね、繊維、和紙・漆器・打ち刃物など福井県のなかでも製造企業が多く集まっている地域です。本校からの卒業生はこのような製造関連企業や、自動車整備、電気工事、建築・建設関連など専門性の高い企業にほとんどが就職していきます。ここ最近2007年問題などで工業高校への求人数も回復し、丹南地域の求人倍率は1.5～2倍ぐらいで推移していました。

しかし、一昨年米国の大手証券会社の破綻や株価の暴落など世界的な金融不安のために景気が後退し、雇用情勢が大きく変化してしまい、今後の求人に関しては非常に厳しいことが予想されます。

しかし、元気ではきはきしている、挨拶が出来る、遅刻欠席がないなどの人間性はもとより、より専門的な技術・技能を身につけた人材を求める傾向に変わりありません。より高度な知識・技能を必要としている企業では採用主力を高校生から大学生・専門学校生に移している場合があります。

武生工業高校では約6割の人が就職、4割の人が進学をしていきます。進学する人も将来は全員が何らかの形で仕事に就き、私たちの周りの社会・経済を支えていかなければなりません。「なぜ働くのか」という問題に関して自分自身の問題としてとらえ、常に考えしっかりとものにしていける必要があります。将来の目標を見定め、これから卒業までの高校生活が充実したものになるよう期待しています。

★武生工業卒業生
約10000人

★武生・鯖江は
製造企業が多い地域

★H20年度
丹南地域求人
倍率 1.84 倍

★高卒求人にも
高い専門性・能力が
要求される

★武生工業高校
H21進学率36.1%



〔2〕なぜ働くのか

①社会的役割を果たす（あなたはどの様に社会に貢献しますか？）

両親を初め、君たちの周りにいる大人の人はずべて何らかの形で、仕事に就き社会の役割を果たしています。ものを作る人、運搬する人、ものを売る人などさまざまですが社会の維持・発展に寄与しています。「自分はどのような形で“世の中”に貢献したいのか、していくのか」また具体的には、「どの様な進路（就職・進学）、職種・会社ならそれができるのか」を考える必要があります。

②自己の存在の確認と成長（これからの人生を豊かにするには）

長い人生の中で、就職することは一つの目標ですがそれで終わりではありません。仕事を通じ、能力の向上や人格の育成をはかることは、人間としてとても大事なことであり、これからの自分の人生を豊かなものにつなげられます。

③生活の基盤は労働と賃金

労働には、それに対する正当な給料が支払われます。この収入で私たちは生計をたてているのですから、決して軽く考えることは出来ません。しかしお金をたくさん儲けることが一番大事な人生の目的ではありません。をふまえた上で考えていく必要があります。



【3】これから身につけなければならないこと

あなたにとって足りない部分は何？

まず最初に考えておかなければならないのは、社会が・企業がどのような人を受け入れたいと考えているかです。これは言い換えれば、卒業までに身につけなければならないことでもあります。

このことをふまえ、これから取り組まなければならないことをはっきりさせる必要があります。足りない部分は明日からの日常生活のなかで直すよう実践していかなければなりません。

★社会人として何が
必要か？

★もっと視野を
広くして社会から学ぼう。



★3年間で10日も
休む人は企業は
いらない！

①健康は規則正しい生活から！

あたり前のことと思われるが、健康な人間であることは最も重要です。病気になると毎日の生活が憂鬱になるだけでなく、会社などでは仕事が進まなくなって他人に迷惑をかけることとなります。

企業は健康面を、高校時代の欠席数、遅刻、早退数で判断します。現に3年間で10日も欠席があると受験できない企業もあります。病気・欠席は出来るだけしないように日々規則正しい生活を送るよう努力しましょう。

②マナーを身につける。(社会人としてあたりまえ！)

普段から気をつけ実行しよう。

社会人は、挨拶ができ、敬語が使えてあたり前です。また立場に応じて相手に失礼にならないような振る舞いも要求されます。高校生活の中でしっかりと挨拶・言葉遣い・礼儀を身につけるよう努力しましょう。

- a. きちんと挨拶が出来ること
- b. 正しい言葉遣いが出来ること
- c. 礼儀作法等を身につけること

③常識があること

a. 基礎学力

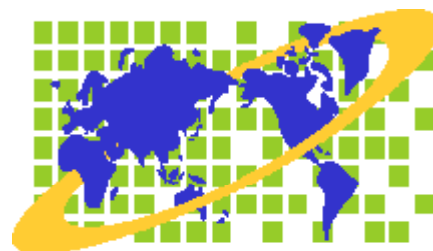
一般教養（漢字や文章表現、一般常識など）は生活の基本であり、できなければ恥ずかしい思いをすることとなります。ほとんどの会社で一般教養試験が実施されており、毎日の基礎的な勉強はたいへん重要です。

★読む・書くは
すべての基本。

b. 社会常識

社会人になるにあたっては、社会や経済の動きにも目をむける必要があります。日々の日常会話などで話題となったり、入社試験の面接などで最近興味を引いたニュースを聞かれることもしばしばです。新聞を読む・ニュースを見る習慣を身につけることで自然と力がつくものです。専門的な知識も必要ですが、ある程度の世の中の動きくらいはつかまないと社会人となる基礎は築けません。

★新聞・ニュースなど
毎日新しい情報を。



④性格的な部分

a. 積極性があること、向上心のあること

現代の企業は毎日が競争であると言っても過言ではありません。その中において自ら進んで仕事をしようとする「自主性」「積極性」は大事です。その意味では日頃からクラブ活動、学級会活動などを通じて、身につける必要があります。

☆自分ではなかなか
わからない事もある。

b. 協調性があること

企業は人の集団であり、一つの目的をもって活動しています。その中で自分の役割を認識し、協力して実践する態度が必要です。

☆他人からの指摘は
謙虚に受けよう。

c. 個性があること

自分はこれだけは他人に負けないというもの身につけましょう。趣味・特技などは、人の輪を広げ豊かな人生につながるので大事にしたいものです。



d. 明朗快活であること

e. 真面目で素直であること

f. 責任感が強いこと

⑤高い専門知識・技能を身につける。

最近の企業はより専門性の高い人材を求めています。本校では都市・建築・電気・化学・電子機械の各分野があり、それぞれの基礎はもちろん、実習・体験・資格取得を通してより高い専門性と職業観を身につけることができます。卒業後の就職・進学では高い専門性をしっかり身につけ、社会・企業に貢献していきましょう。



【4】職種とは

職業には、実に様々な職種があります。自分に適した職種につくことは重要ですが、あまり固定的に考えることは、自分の選択範囲を狭くします。

研究開発、専門技術職、専門事務など高度な知識を必要とする職種については高校卒業後進学してさらに高度な知識・技能を身につけることが必要です。

武生工業高校は工業高校なので技術系の仕事がほとんどであることは言うまでもありません。

☆研究・開発・専門職は
進学して

☆本校からの進学・就
職はほとんど技術系

技術系	現業職 研究・開発職 専門技術職	建設作業・工場作業・自動車運転等 基礎研究・製品開発・システム開発等 医師・教師・プログラマー等
事務系	一般事務職 専門事務職	総務・庶務・人事等 経理・法務等
販売系	営業職 販売職	国内営業・外国貿易 店舗販売・訪問販売
その他		税理士・公認会計士等

職場によっては、仕事の内容がいくつかにまたがることもあります。
また同じ会社でも一つの職種で定年まで変らずにいることはほとんどありません。

【5】高校生活を充実させるためには

何でもそうですが、これからの生活を充実したもの、楽しいものにするためには自分の意識を前向きにとらえて行動できるか、そうでないかによって大きく違ってきます。たとえば家で手伝いをする時も「自分の遊ぶ時間がなくなるし、イヤだなあ〜」とマイナスな考えかたをするか、「忙しい両親がこれで少しは楽になるかな!」とプラス思考で考えるかでやった後の気持ちは全く違うということです。

また学習などに対する姿勢も、ただ先生の言われるままにやるのと、自分の弱いところを整理し、次のテストまでの目標を設定し計画をたててやるのとでは結果はおのずと変わってくると思います。

これからの高校生活・人生を充実させるためのヒントをまとめてみました。できることと少しずつ確実に実行してみてください。

★プラス思考で
人生は変わる

★目標を見定めて行動
すると結果は変わる

①部活動・生徒会活動・ボランティアなどさまざまな経験をする。

学歴偏重といいますが、これから社会で求められるのは多様な経験・体験です。その中に自分を置くことで自分の性格（長所・短所など）を知ったり、人生の目標を見つけたりする機会も生まれてくる。教室に閉じこもることなく広く社会・世界を見つめることは社会人になるためには必要なことです。



②将来設計をもつ・計画を立てる

今の段階で将来設計をするのはかなり難しいが、進路を決める一つの方法として将来設計を立て目標を具体化していくことが必要です。

また、当面の目標としては、学期の始め・終わりなど節目にあわせて自分の取り組んできたことの分析、次の目標の設定、計画と実行を繰り返すことで高校生活をより充実したものにできるでしょう。

★生活の節目に
あわせて

- ①分析
- ②目標の設定
- ③計画と実行

③自分を分析する

自分の適性を考え、自ら分析してみましょう。たとえば、自分の性格の長所・短所をいくつかあげ、現状と長所をどの様に伸ばし、短所をどの様に直していくかを考えます。また自分を客観的に見てもらう機会をつくることも必要です。これを繰り返して行くと、自分が何に向いているのかが少しずつ理解出来るでしょう。



④必要なことはメモをする習慣を付ける。

日記などと考えると3日で終わってしまう人も多いのではないのでしょうか。「必要なことをメモする。まとめる。」など、もっと気軽に考えて実行しましょう。そうすることで自分の考えをまとめたり、問題点・目標などを整理することもできます。また同じ失敗を繰り返すことも少なくなっていくのではないのでしょうか。

1. スケジュール
 2. 目標・自己分析
 3. 努力目標
 4. 気がついたこと
 5. 質問事項
 6. 最近のニュース
- など自分で工夫しましょう。

★まずはメモ帳を
身につけることから
始めよう。

⑤親や先生とのコミュニケーションを深める

情報を得ることだけでなく、人生の先輩として、学ぶべき点を積極的に吸収することが大事です。

